

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

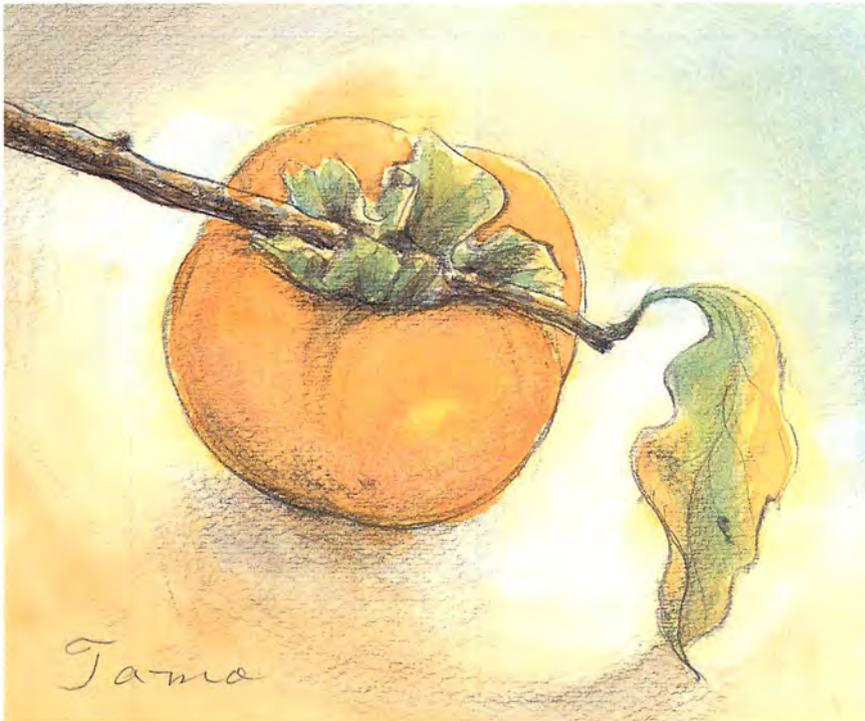
Stage

月刊ステージ・アップ

up

'93
10 月号

かわさき市民アカデミーが「開校」
高橋清市長が励ましのあいさつ
山田太一さんが記念講演



柿生の次郎柿



いまを話す

特養老人ホーム「緑陽苑」施設長佐野英司さん
プライバシー……四人部屋は論外だ
守れない……

特集 **かわさき市民アカデミーが「開校」**

- 高橋清学長(市長)が学生に励ましのあいさつ 3
- 山田太一さんの記念講演 いま学ぶということ 5
- 市民アカデミーのめざすもの 篠原一学長代行 10
- 学生の期待と喜びの声 4

◆はりきってます グループ紹介 11

中原川柳同好会 17音に社会風刺や人間愛託す

●ほんねインタビュー いまを話す

特養老人ホーム「緑陽苑」施設長、佐野英司さん
 フライバシー守れぬ **四人部屋は論外だ** 12

「市民企画講座」

研究発表 『川崎に「農」のある
 まちづくりをめざして』 16

◆学習・文化情報 / 会員募集 18

◆小誌配布場所(各區別) 22

◆ミニニュース、編集後記 23

●表紙絵 田中保さん

(小誌は再生紙を使用しています)

◆情報技術セミナー◆

**さらにパソコンを
 使いこなす**

受講生募集

- 受講期間 — 11月16・17・19日
 10～16時
- 対象・定員 — 成人 15人
- 受講方法 — 1人1台のパソコンを
 使い実習
- 講師 — 北村 恭子さん
 (科学技術リテラシーセンター)
- 受講料 — 10,000円
 他に教材費1,500円
- 場所 — 市教育文化会館
- 申し込み — 10月15～29日
 ☎233-6250
 当事業団分室へ。

当事業団は
 小田急線新百合ヶ丘駅から2分
新百合21ビル地下2階です。

多目的ホール(504席)
研修室(24～30席)3室
会議室(20席)2室が

ご利用になれます。
 ご予約・お申し込みは

☎952-5000へどうぞ。

12月29日～翌年1月3日を除き無
 休で開館しています。

受付は

午前9時～午後5時に
 (土曜の午後と日曜・祭日は除く)

「生涯学習の時代」の幕明けを告げる かわさき市民アカデミーが開校

高橋清
学長

学びあい、高めあい、助けあう学習に

中高年市民が、興味あるジャンルを専門的に継続して学び、研究する新しい学習機関「かわさき市民アカデミー」(学長・高橋清川崎市長)の開校・入学式が九月二十九日、市教育文化会館であり、「生涯学習の時代」の幕明けを告げた。式には、会員(学生)、講師、演習コーディネーターら二百五十人が参加。「知識の海への旅立ち」を祝った。かわさき・クラシック・ブレイヤーズ・クラブが記念演奏。シナリオライターの山田太一さん(高津区在住)が「いま学ぶということ」と題し記念講演(五〇八頁に記事)。高橋清学長は「ここに、第一期生をお迎えでき、心から喜んでいいる。入学生を学生と言わず、会員と呼んだのは、会員、講師、コーディネーターが共に学びあい、高めあい、助け合う学習機関を意味する。会員のみならず、講座内容や運営に、どしどし注文を出し、魅力あるアカデミーにお育ていただきたい。そして将来設立する『市民大学』の基礎づくりをお願いする」とあいさつ。さらに、篠原一学長代行(東大名誉教授が「かわさき市民アカデミーのめざすもの」と題し講話をした(九、十頁に記事)。



高橋清・学長は、第一期会員に

お祝いと激励のあいさつを述べた。同時に、アカデミーの開校に至るまでの篠原一学長代行(東大名誉教授)ら多くの関係者の努力と労苦に感謝の念を表明した。

学長は今日まで、川崎の生涯学習を支えてきたのは、市民館などの公共施設で学んできた市民であり、「このすばらしい土台があつて、初めて専門的に継続的に学べる市民アカデミーを設立することができた」との認識を示した。

そして、式に参列した会員が年齢より、はるかに若く、表情が輝いていることに触れ「健康の秘訣は、頭と体をバランス良く使うことなのだ」と、改めて思った」と中高年の生活に学習の必要を示唆。学長は、ことわざ「五十の手習い」を引用。「その頃は『人生わずか五十年』の時代で『あの人は五十歳になっても勉強をしているすごい努力家だ』と、尊敬の意味が込められていた」と述べ「人生八十年時代」の現在、「第二の学齢期」ができ、それが中高年齢であると、会員を励ました。

さらに高橋学長は「かわさき市民アカデミーは、自らが望む学科を他の会員や講師などと学び合い、知識を高め合い、助け合いながら修学期間を過ごし、これを地域社会に役立てる新しい学習理念に基づいたもの」とであると強調。また、アカデミーでの学習が市民の知的レベルアップにつながるとの期待もあり、講座内容や運営について「会員がどしどし注文を出し、近い将来設立される『市民大学』の基礎づくり」をアカデミーの先駆者でもある第一期生に要望した。

市民アカデミーに 「入学」して…… 会員の声

受け身でない心理の勉強を

高津区北見方、北條つや子さん

(58) 人間学 以前からテレビの「人間大学」という講座を聴いていました。「死と向き合う」のテーマでは、生と死について考えさせられました。一つの事柄について、人それぞれの生き方、考え方、反応が違うので興味深く視聴しました。アカデミーでは、人の心理についてテレビと異なる受け身でない勉強をしたいと思えます。

人間観を創りあげたい

宮前区菅生、武田勇さん(64) 人間学

戦争で若い頃、しっかりと勉強ができませんでした。四十七年間働いてきて、人や宗教について感じること、たくさんありました。深く勉強したいと思い、アカデミーに参加しましたが、ここで人間観や人

生観をしっかりと創りあげていけそうだと思います。

不登校児問題、話し合いたい

麻生区王禅寺、松森裕子さん(46)

人間学 民間で勉強し十年間カウンセラーをしてきましたが、改めて大学レベルの心理学を学びたいと思います。相互に影響し合う「会員」として、自分が機能できるか心配です。不登校児問題に関心があり、みなさんと話し合っていきたいと考えています。

友人も作り、二カ年頑張る

幸区南加瀬、鳴海素さん(53) 芸術

油絵を描いていますが、技術面にだけ目がいつてしまいがちです。真の知識を吸収したいと思い入学しました。引つ起して来て二、三年なので、友人を作りながら、少し厳しいとも思う二カ年間にとにかく頑張ってみます。

将来の方向見つけたい

多摩区中野島、田中実さん(20)

芸術 「芸術とは何か」に興味があつて入会しました。年配の方からたくさんものを吸収したいと考えています。参加していくことで、自分の将来の方向を見つけ出したいと思っています。

苦手な分野に不安と期待

麻生区王禅寺、余田治代さん(54)

政治・国際関係 今、激しく変わリそうな政治に疎く、勉強すれば分かるのでは、と、入りました。ボランティアとか、国際貢献とは、日本人として貢献できることはなにか、を探してみたいのです。苦手な分野なので、不安と期待でどきどきしています。

講座内容に興味持ち入学

中原区上平間、穴戸廣さん(43)

政治・国際関係 講座内容に興味があつて入学しました。仕事の関係で、講座が始まって、きちんと受講できるか不安ですが、なんとか努力したいと考えています。

演習で経済の良いヒントを

宮前区けやき平、蓮田明子さん

(47) 経済と地域 当初は、中高年向けカリッジとして計画されていたためか、会員は年上の方が多く、このコースは特に女性が少ないようです。私も経済には疎く、新聞の経済欄や国際欄は分かりませんが、演習などで会員の方と話し、ヒントが見つかればと思っています。また、異分野の方々と交流できると期待しています。

自分で政治を判断する目を

川崎区門前、細岡夕ヶさん(80)

政治・国際関係 生活していく中では、食卓から政治なのだと思います。汚職も私たち庶民に跳ね返ってきます。政治の背骨を見届け、世界が分からないと日本が分からないことを自分の目で判断するために、勉強したいのです。

自分史が書けたらと……

川崎区中島、田中誠一さん(60)

文学・歴史・自分史 若い頃から短編小説などを書いて冊子にまとめていました。ずっと書いてきた日記も溜まり、ここで自分を振り返って見ようと思いました。自分史が書けたらいいですね。単位が多いとの声もありますが、企画に携わった方々が研究し作られただけに、良くてきていると思っています。

脚本と映像の関連を勉強

高津区明津、佐藤幸子さん(32)

演劇・映画・言語 シナリオを勉強していますが、シナリオのテクニクだけではなく、映像との関連をも勉強し、教養も身につけたくなりました。民間より授業料が安く、講師が偏らないでレベルが高いことに魅力を感じました。

「いま学ぶということ」

山田太一さんが記念講演



学習目的

若い時期 生きていくために
中高年期 本物の価値観探す

山田太一さんは、記念講演「いま学ぶということ」で人格形成に影響を与えるのは「個人の経験」。だが、その領域は狭く、先入観で物ごとをみる危険性を指摘、学習の必要性を強調。さらに「今は想像力欠如の時代」で、その課題と現代的学習の意義を明らかにした。

「学ぶ」ということが、生活をする上で必要なことは言うまでもありません。主として、若い時期には「生きていくために学ぶ」ことから出発するわけです。

私の場合は中学生のころ、父が



二度目の妻をもらい、連れ子がおりました。しかし、父と新しい母と連れ子とは、うまくいきませんで、喧嘩ばかりしていました。僕は、このとげとげしい空気の中で、自分がどうしたら、父と義母らが

喧嘩しないでもらえるか、と毎日ピリピリしながら生活をしていた時期が何年かありました。

こういうことが、子どものころにありますと、人の心を読もう読もうとする癖がつき、上目使いで人の顔色をうかがうようになりま

す。ところが、これが後年、僕がドラマを書く時に役立ったわけです。親は、必ずしも和気あいあいとした夫婦でなくてもよく、荒れていた夫婦のほうが教育的かもしれないという気がします。

さて、大学生になり初めて一人暮らしをしました。ある日、友達の家のおふろに入ったのです。そこのおばあちゃんに「今、入った子は、おふろのふたをしなかつた」と言われたのです。その時、僕は初めて「おふろに入った後は、ふたをするのか」と思いました。

僕が生まれたのは浅草で、銭湯に行っていました。家族と湯河原に疎開した時も、貰い湯が温泉でしかたから「ふたをする」という発想がないまま、育つたのです。

若いころは、こういう経験からいろいろなことを学ぶものです。しかし、一人の人間にできる経

現実から遮断の受験社会 欠ける想像力、中年にも

験には限度があり、どうしても狭い世界になってしまいます。

ある一つの社会の中に入ってしまうと、非常に不自然な事をしていても、大して不自然でない気がしてくるものです。会社人間とし



て、変な忠誠心を抱くことがあります。また、子供の世界でも帰国子女の発言の内容が正しくても、教室の空気(一つの社会)が壊される気がして、その子をいじめ、口封じをすることさえあります。狭い社会の中だけで、人間関係を作っていると、どうしてもこうなるのです。

かつて「経験がものをいう」時

代がありました。そのころは、確かに苦勞をたくさん重ねた人ほどサバイバル、生き残り作戦では知恵があり成功できたわけです。そういう場合は、経験を積んだお年寄りは敬意を表され、経験の素晴らしさが生きていたのです。

しかし、今では経験から学び、学んだことが役に立つことが、非常に少なくなっています。外国との関わりも、いちいち外国に行つて学んでくるのではなく、本を通して、勉強を通して自分の世界を広げていかないと、現実がとらえられない時代になってきています。

このことは、経験というものが非常に平板になってきたことを意味します。非常に貧しかった時代には、経験が複雑多岐でお金を得るためには、嫌な人にも頭を下げなくてはならないことが、今よりずっと多かったです。これは、生活への危機感があつたから、できたのだと思います。

今は、人間関係も稀薄ですし、危機感もありませんから、険悪になることを避けようと思えば、避けられます。つまり人間について、経験から学ぶことが出来にくくなった時代といえます。

たとえば、高齢者が「戦争中は、お米がなかった」と生活が苦しかったころの話をする、今の子どもは「どうしてパンを食べなかったの」と不思議がります。飢えについて、想像ができません。それと同じように、今の四十年代



記念講演を熱心に聴き入る第一期生ら。

の人たちも、食えない辛さを想像できないから、簡単に「会社を辞めてペンションでも始めようか」と、無計画なまま会社を辞め、失敗する人が結構いるようです。

けれど、今の社会は「いい学校からいい会社に入る」ことを理想のように描いています。これは、ある意味で、現実から遮断されているので、想像する力が養えないわけです。

現実には殴りあいの経験のない人間が、相手にどのくらい殴られたら自分が駄目になるか、どのくらい殴つたら相手が駄目になるか、という認識を体で覚えていないので、殺してしまうことと共通しています。

つまり、現実感というものが非常に平板で、非現実的な現実感を持つているわけです。

バブル経済の崩壊以降「なべがよく売れて『家庭の時代』がまた来た」と言われています。僕はそんなはずはないと思っています。不況で、お父さんの仕事が暇になり帰宅が早くなつたら、家族がうまくいくというものではないからです。お父さんが帰つても、みんな知らん顔をして、自分の部屋に



現実感ない「家族の時代」 人間の汚れに寛容も必要

入ってしまうのが、現実だろうと思います。

ぼく自身、ずいぶん家族のドラマを書いてきました。どのドラマも家族というのは、手に負えないもので、多くの問題を含んでいるというものでした。父親の帰宅時間が早まって、家族の団欒が戻り「家族の時代がきた」という話を簡単に信じ込まされる社会に、僕は「今まで自分は何をしてきたの

だろう」と思います。

そのことは、一緒に暮らしている人に対しても、想像力が無くなってきたことを意味するからです。

現実感が非現実化してくると、思わぬところで人を傷つけたりします。たとえば、いま、テレビ司会者の逸見さんが、がんと闘っています。テレビのワイドショーで、みんなが「何とか闘って勝ってほしい。負けたら終り」といっ

ています。しかし、もう負け戦だと分かって生きている方々は、どういう気持ちでこれを見ているのでしょうか。

長い目で見れば、みんな、いつかは負けて死ぬのです。勝つのは一時的なことです。そう考えると、「死をどう受け入れ、どう見るか」を踏まえて、内容設定をすべきではないでしょうか。テレビ報道が「死というのは頭から嫌なことでは避けたい」という形です。

角川書店の元社長の麻薬事件についても、これと同じことがいえます。コカインを吸うのは良くないことですが、彼は人に売って儲けたわけではなく、非常に個人的な過ちです。ところが「角川が作ったものすべて、いけない」風潮になって、スタッフみんなで作った映画まで上映途中で打ち切った。僕はこのことに非常にショックを受けました。

このように、今の日本社会は、家族や死、悪などについての発想が、潔癖過ぎるようになった気がします。本来、人間が持っている「人間の汚れた部分」について、私達の社会の対応が、へたになっていて、耐えられなくなってきた

いるのです。

こうした、非現実性が社会に与える影響というのは、教育についても、老いの福祉についても、何かしてくれているようで、実はズレがたちこちで起こって、非常に嫌な社会になる危険性があります。映画やドラマを見ていなくても、最近では、ひとひねりした作品より、子供っぽい作品のほうが「見ていて気持ちがいい」と好まれているようです。それは、狭い日本社会でなら通用しますが、世界に広げた場合、リアリティーも、普遍性もない作品なのです。

かつて日本人が持っていた現実感が、高度成長期の平和の中でズタズタになり、非現実的になったのです。国際化といわれる中で、外国人と付き合うことで今後、鍛えられると思いますが、それまでに相当ひどい目に合うことを覚悟



理想の境地求めて 有効性より楽しい学習を



しなくてはいけないはずで
さて、率直に言つて、経験を積
む中で、さんざん学んできた中高
年のみなさんが、今この時期に、
さらに学ばなくてはならないこと
には腹立たしさも感じます。
みなさんが学習する場合、それ
が役に立つかどうかという「有効
性」より、何の目的もなく「ただ
学ぶことの楽しさ」ということが
あります。これは四十代、五十代
前半までは出来にくいことですが、
今までは違ったものの見方、別
の価値観を形作る勢力が出来ても
いいのではないかと思います。
また、有効性はずして、人間

にとつて何が大事かを考えること
も大切だと思います。
若い頃は「生きるための勉強」
ですが、ある年齢まで達すると、
「その先を目指さなくてはいいけ
ない」という気がします。ある本に
「人生というのは、だんだん登つ
て行くけれど、ある所から下り坂
になる。その折り返し点の見極め
をしないで、下り坂になつてもア
クセルを踏み続けていると、早く
死んでしまう」と書いてありまし
た。これでは「年甲斐がない」こ
とになります。
ですから、私達の年代の人間が
知識を蓄える時には「知識にわず
らわされ、知識が実体を見えなく
しているかもしれない」ことを踏
まえて、本当のもの（学習）は何
かという悟りに近い心境や、ある
時、ふと感じる「生きていだけ
で幸せ」というような価値観を手
に入れることが大切だと思います。
老子の言葉に「兩行」というの



がありまます。どういふ正義であれ、
どつちもどつちという意味です。
また、「衆妙の門」といふ言葉があ
ります。これは女性の性器のこと
です。要するに、すべてはそこか
ら発して、その前には善も悪
もなければ、そこから派生した正
義といつても、必ず対になる別の
価値観が同時に存在するといふ意
味です。ものの考え方の基本には、
そういうものがなくてはいいけな
いと思ひます。
僕は、本を読まなくてはいられ
ない世代の人間です。本を読んで
知識を蓄え、それで少しは頭が良
くなった気がします。でも、それ
は恐らく違うだろうと思ひます。
そういうものを取り払つて、す
つと見えてくるような境地になら
なければ、死ぬ時は一人ですし、
死と向き合う時、そういう学問が
何の役にも立たないかも知れませ

ん。理想は、病院の天井のしみを
見ているも幸福な気持ちになれる
ことだと思ひます。そういう境地
を求めてもいい年代に、われわれ
はなつていふような気がします。
「源氏物語」は、小説としては
非常に無駄が多いのです。しかし、
混沌としているから、人生の根源
的なことを感じさせてくれます。
ですから、これからの学習は、
差し当たつて用のない勉強をし
り、いろいろなことを知つて、そ
の全体がある一つの知恵になる形
が理想的ではないかと思ひます。
それは、断片をかき集めたもの
から感じとることもできますし、
必ずしも立派な断片をたくさん集
めたからといつて、その全体から
相対的に人生を感じ、人間の真実
を感じとれるものではありません。
その違いは何かと言ひますと、
広い意味での宗教的な感情だろ
うと思ひます。何かしら大いなる存
在によつて、自分があらしめられ
ているといふ感覚がないと、いく
ら断片を集めても深い知恵とか、
明晰というものが表出できません。
私達の勉強には、今それが必要
であると感じております。



かわさき市民 アカデミーの めざすもの

篠原一学長代行が講話

かわさき市民アカデミー開校式の締めくくりは、篠原一・学長代行（東大名誉教授）の「かわさき市民アカデミーのめざすもの」と題する講話。篠原学長代行は、社会が複雑多様になったのに「情報が画一的で、必要なことを十分に伝えていない」とし、同アカデミーの任務が「良質の情報提供」や「自分の利益や身近かなことに関心を持たない現代社会の風潮に挑戦することにある」と述べた。そして、アカデミーの優れた特色を明示し、会員に「いつも新鮮な興味と関心を持って『知の大海』に旅立とう」と呼び掛けた。

このたびは、たくさんの方を
いただき、ありがとうございます
た。

さて「いま、なぜ市民アカデミ

「なか」また、それは「どうい
う内容のものであるか」について
開学にあたって、お話ししたいと思
います。「なぜアカデミーなのか」

ゼミ中心の学びの場 知識や技を社会に役立てる

については、社会と個々の市民の
二つの側面から考えることができ
ます。

最近では情報社会といひまして、
社会には多数の情報が氾濫してい
ます。しかし、どこのテレビ局も
同じようなニュースを流し、世の
中には多くの問題が山積している
にもかかわらず、必要なことは十
分に伝えていません。情報は画一
的でレベルが高くありません。

しかし、社会自体が複雑多様に

なっていることは確かです。たと
えば、以前でしたら推薦図書にし
ても大方の意見は一致したもので
すが、最近は良書紹介がバラバラ
で、ほとんど意味を持たなくなっ
てしまうほど、価値観が多様にな
っています。

画一的情報でなく 良質な情報を提供

こういう状況の中で、ふつうの
メディアには流れない、良質の情
報を提供するのが市民アカデミー
の任務の一つです。

こういう社会の変貌とともに、
市民社会を構成する一人一人の市
民の在り方も変化してきました。
端的にいつて社会は豊かになり、
市民の知的能力も数十年前と比べ
格段にレベルアップしています。
しばらく前から、社会教育という
言葉に代わって、生涯学習という
言葉が使われるようになっていま
す。これは市民の能力の向上と、
自主性の向上によるところが少な
くありません。

上から与えられる教育ではなく、
ライフ・ステージのあらゆる段階
で自ら学びとるのが生涯学習です。
ここでは専門家はその手助けだけ

いきいきとした地域社会に

女性・シルバー・職員

3つのデモクラシー

をすれば良いはずで。

こう考えれば、わかりますように、生涯学習は、どこの国の、どの時代にもあるというものではあられません。社会と市民のあり方はいかんによって成立するものです。日本は、そして川崎はいまやそういう状態にあると思います。

政界の腐敗のように 市民社会も腐敗?!

しかし、私は現代の社会をそう楽観しているわけではありません。政界が腐敗しているように、日本の市民社会も小市民的社会として、明るく静かに腐敗しているのかもしれない。人々の考え方や行動の範囲が極めて狭くなり、多くの人は自分の利益や身近な関心の外に出ようとしません。社会的関心をもつことは、グサイことになりつつあります。

こういう社会風潮に挑戦してみたいというのが、市民アカデミー

の一つのねらいです。あまり肩ひじを張らずに、しかし硬質的なもの、骨太なものを育てていけるかどうかが問題です。

これから数年をかけて、みなさんと一緒に、川崎の市民大学を他にみられないユニークなものにしたいと考えています。

カルチャーセンターにない 会員の自主性を尊重の運営

さし当たって市民アカデミーの特色を二、三挙げてみましょう。第一は、ここはゼミを中心とした学びの場です。川崎の場合は、あくまでも会員の自主性に基づいて、それを講師が調整していくようなゼミにしたいと考えています。これはカルチャーセンターにはないことです。

第二は「学ぶ人が動く人に」、動く人が学べる場にしたいと思えます。自分から取り組む学習は楽しいもので、学ぶこと自体が自己

目的になりがちですが、身に付けた知識や技は、ぜひ社会のために使うようにしたいと思えます。「動くこと」をあまり堅く考える必要はありませんが、得た知識は何らかの形で社会に役立てたいものです。

会員のニーズあれば 社会人入学の道開く

第三に知識だけでなく、生活に



役立つ技能も習得できる場にしたと思います。その点で市民アカデミーは、取り扱う分野が極めて広いことに特色があります。いま、市民アカデミーの計画として挙げているものだけでなく、正式の社会人入学をしたいというニーズがあれば、積極的に対応したいと思えます。また、地域の中に伝承したい技術や芸能があつて、それ自身につけたいという市民があれば、

ぜひ協力したいと思えます。ともかく、みんなでアイディアを出し合い、また大きな夢をもって生涯学習の川崎方式を作り出し、それを通して川崎の市民社会のいっそうのレベルアップを期したいと思っています。

さて、地域社会に三つのデモクラシーがあるときに、はじめて地域社会は豊かな、いきいきとしたものになると、私はかねて述べてきました。女性デモクラシー、シルバーデモクラシー、職員デモクラシーです。

アカデミー参加者を見ると、第一の職業をおえた男性二に対して四十代、五十代を中心とした女性三からなっています。地域に合うよい部分を代表した、すばらしい構成です。それにアカデミーの職員は、希望に燃えて日夜、アカデミーのよりよい発展に努めています。この三つのデモクラシーの担い手を支えにして、市民アカデミーの建設にあたりたいと思えます。また、それを新しいまちづくりの核にしたいものです。

では、いつも新鮮な興味と関心を持って、「知の大海」に旅立とうではありませんか。

はりきってます グループ紹介

17音に社会風刺や人間愛託す

中原川柳同好会

「親馬鹿をやめたく思いやめられず」。一気に自分の心を十七音(文字)に込める川柳。「中原川柳同好会」＝田中静夫代表(85)ら十七人の会員は、毎月第一木曜の午後、中原市民館の会議室に自作の句を持ち寄り、志水剣人・川柳黒潮吟社主幹の批評を受け、上達に意欲を燃やす。

まず、それぞれの会員が一カ月の間に作った課題吟と自由吟を全員が目を通し、志水先生が一句ずつ批評を行う。

忙しくペンを走らすおばあちゃん。先生の批評に「うなずくおじいちゃん。一言も聞き漏らすまいと真剣な表情。お年寄りの受験塾のようなムード。

時には、会員から「実は、こういう気持ちで詠んだのですが…」と批評への「反論」も。部屋全体が和気あいあい。笑い声に包まれることもしばしば。

当日の課題句作りもあり、この

日は「日曜 サンデー 休み」がテーマ。外に目を向け考える人、腕組みし天井をにらむ人。約一時間句を作る。出来た句は、作者

職退いて 喜び薄い 日曜日
親馬鹿をやめたく思いやめられず

名を伏して黒板に書かれる。「日曜日年金ぐらし早く起き」職退いて喜び薄い日曜日「ばあちゃんは留守番一声インジン音」。

全員が選者のつもりで無記名投票。他人が作った句をどう評価できるかも句作りの大事な勉強だ。多くの会員は、同会で磨いた川柳の心を基に、新聞や雑誌に投稿する。一カ月に四十句を投句して



仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

いる会員も。「テレビ局をまわして稼ぐ大事件」。この句は、東急沿線新聞に載った清田惟弘さん(63)の作。この他に数句を紹介しよう。

「都議選に新党売り出しイメージ勝ち」＝服部美喜雄さん(71)。
「イメージに頼り出迎え見付からず」＝深井俊光さん(64)。
「騒音も子守歌となる仮住居」＝橋富美さん(79)。
同会誕生のいきさつについて、田中代表は「十年前、老人会でぼけ防止に川柳を始め、本格的に勉強しよう」と、市民館に川柳入門講座を要望。一昨年一月から三カ月、講座が実現。その後、同好会として、スタートしました」と話す。

志水先生は「川柳は、人間をクローズアップする。俳句が花鳥風月を詠むが、川柳には拘束がなく、喜怒哀楽や社会生活を表現する。ユーモアや風刺の裏には人間愛、愛情がある。心を探究し、生活から生まれた文芸」と話す。

田中代表宅は、中原区上丸子山王町一の一四三三。☎42216982。

(取材/小誌・山本綾子。写真/小誌・熊野史子)



特養老人ホーム「緑陽苑」施設長

佐野 英司 さん

いまを話す

インタビューー 片野 トシ子 さん

Vol.18



人生八十年の長寿社会。それは「老いた父母を老いた子が介護する社会」の側面も。「老後を老人ホームで過ごしたいと思わない」との声も強い。特別養護老人ホーム・地域ケアセンター「緑陽苑」の佐野浩司・施設長は「高齢者問題の核心はそこにある」と指摘。特養ホームの国の基準は「一室四人」。子ども部屋一人一室の時代に長年、社会に貢献してきたお年寄りの住家にプライバシーが無いのだ。佐野さんの悩みと怒りもそこにある。緑陽苑は「お酒も飲める普通の暮らしのある老人ホーム」をめざし、着実に変革を進めている。訪問看護やリサイクルで、地域に風を伝える片野トシ子さんが、高齢者福祉の現場の矛盾や将来ビジョンを聞いた。

人ム
プライバシー守れぬ

四人部屋は論外だ

老ホ 子ども部屋、一人一室時代に

——実は佐野さんとお会いするのは初めてではないんです。昨年、ボランティア勉強会で、佐野さんの「北欧見学とこれからの福祉」のお話に感激し、私がお手伝いしている介護グループの機関紙に書かせていただきました。

佐野さん ええ、見せていただきました(恐縮した表情)。

——ところで、どんないきさつで緑陽苑にかかわったのですか。

佐野さん 私は長年、地域福祉の仕事をしていたんですが、老人ホーム建設運動をしていた方々か

ら相談を受け、お手伝いをしたのがきっかけです。八九年に緑陽苑が完成し、初代施設長の後を引き継いだわけです。

——こちらに来て、どんなホームにしたいと思われましたか。

入所者でなく居住者としてお年寄りが生活の主体者へ

佐野さん それぞれの方々の人を一色に塗りつぶすことのないホームにしたいというのが、私の一貫した願いです。それは、地域のお年寄りも障害者も子どもも、

生きいきと生活できる地域づくりにかかっていると思います。

——そうお考えになったのは。佐野さん 現状の老人ホームがお年寄りが生活の主体者になっていない。入所者という語感に「サーピスの対象者」の響きを感じません(問い掛けるように)。

——おっしゃる通りです。

佐野さん 人間はどこに住んでも居住者です。私たち職員の仕事は、その人が自立して生活できるよう援助することです。ですから本来、居住者として普通の暮らしができるのが当然です(手振

佐野 英司 さん

さの・えいじ=1939年、東京生まれ。成蹊大政治経済学部、日本社会事業学校研究科卒。県社会福祉事業団職員として、川崎と横浜の愛泉ホームで地域福祉活動に従事。90年より特養老人ホーム・地域ケアセンター「緑陽苑」理事・施設長。明治学院大社会福祉実習インストラクター。執筆、講演などでも活躍。八王子市の自宅に妻と二女。

寝たきりにさせない 職員の姿勢が大切だ

りを交えて。

——お年寄りと接して、人間は生の終りまで女性であり、男性であると。このホームで具体的に改善なさったことは……。

車椅子で入浴の中間浴槽でお年寄りの再自立を手助け

佐野さん 去年、車椅子のまま入れる中間浴槽を購入しました。自分で体を洗えるので「家庭で入浴しているような気分」と本当にうれしそうです。寝たまま入る特殊浴場の利用は今一人だけですが、

——素晴らしいですね。日本人はお風呂好き。特殊浴槽の場合、「体全体を職員に見られる」との羞恥心から目をつぶり、職員も辛い感じがしますね。

佐野さん だれでも、お風呂のことだけでも「ホームには行きたくない」と考えますよ。

——衣食住と排泄、入浴はとても大切なことですから(ため息)。



佐野さん お年寄りは、本当は自分で入浴し、自分でトイレに行き、自分で食べたい。痴呆が出ていても、他人の目に触れたくないことはあるのです。

——プライバシーへの配慮、必要ですね。経管栄養の方もいらっしやいますか。

佐野さん 今はおりません。以前、経管栄養の方がクリスマスの時、経管を外しみんなとケーキを

食べました。その方は今もけい管を外し元気で暮らしてますよ。

——口から食べると元気になるのですね(うなずいて)。

佐野さん 職員が固定観念にとらわれず、その方の可能性にいつも挑戦する姿勢が大切です。年に二、三回、おすし屋さんに来ていただく日がありますが、ほとんどの方が食べられるんです。

——私、お年寄りとハイキングに行くのですが、普段驚くほど小食な方も食べちゃうんですよね。また、生活リハビリセンター(麻生区東百合ヶ丘)で、車椅子でいつも眠っている「眠り姫」のおばあちゃんが二、三カ月で杖をつい

片野 トシ子 さん

かたの・としこ=徳島生まれ。仲間7名と「リサイクルショップ呼称」の経営やタウン紙「なかのしまの風」の発行。フリーマーケットの開催も。川崎市社会福祉協議会のホームヘルプ事業にもかかわり、訪問看護婦として活躍。また、民間のディサービス「生活リハビリクラブ」、たすけ合いグループ「とも」の活動に参加。麻生区下麻生に在住。

て歩けるようになりました。職員が可能性を信じて働きかけをした成果です。今では、ピアノを弾きたいと白内症の手術をし、「ごみまできよく見える」と言っています。

佐野さん お年寄りの「何を食べたい、何を食いたい、どこへ行きたい」の基本的自由が保障される老人ホームでなければいけないと思うのです。その認識を国・地方自治体を持たないと……。

——緑陽苑には、買い物の日やお酒の日もあるそうですね。

佐野さん はい、ボランティアの方と買い物に出かけます。お酒



は週二回です。本来は毎日飲んでもいいのですが、四人部屋なので飲酒しない方の迷惑も考え制限せざるを得ません。また、人の配置基準を増やさないと、職員にそれを見守る余裕がないのです。

——先ごろ、差別意識の福祉川柳が社会問題になりました。意識改革についてお話し願えますか。

佐野さん いま、職員の中で生活援助をどうすべきか論議し、今年から処遇という言葉を使わない

ことにしました。職員の意識変革には時間がかかると思います。

——福祉についての国・行政の意識が、他の先進国に比べ遅れているとの指摘もありますか。

佐野さん 昔、ある大臣が「老人福祉に金を注ぎ込むことは枯れ木に水をやるようなものだ」と発言し問題になりましたが、いまだに市民、職員の中にあの考え方があるのでは……。そのことが雑居・四人部屋を許し、職員配置もお風呂は週二回を想定して決め、飲酒禁止などの生活管理を強いているのだと思います。

——その根底には何が……。

佐野さん 一口で言えば、劣等処遇の考えが依然、根強い。それをいかに払拭するかが、日本の福祉の前進に欠かせません。

——ここも四人部屋が主ですか。佐野さん はい。昭和四十一年の厚生省令が生きていて、お年寄りの専有面積が、一人当たり四・

「ふじうの暮らし」めざし 買い物の日やお酒の日

緑陽苑

九五平方以下。直接関わる職員の配置が、四・一人に一人の基準です。一人部屋を三〇割まで認めてはいますが、うちでも個室は二つ。普通の暮らしを考えたら、四



人部屋なんてとんでもない。

——なんだか国の政策の矛盾との闘いのような感じがですね。

佐野さん 責任を転嫁するのでなく、自分たちが力を尽くし、制限の中で、どれだけ改善できるか、実践していくかが大切です。

——今後、どんな施設が望ましいとお考えですか。

佐野さん 緑陽苑は定員七十人ですが、大きい施設が必要か疑問

です。多くのお年寄りは、老人ホームに居住する時、住み慣れた地域を捨てるのです。この住居者の多くも、休日に家族が来るのを首を長くして待っています。家族の自宅が遠いこともあり、肉親が顔を見せない日のお年寄りは、落胆します。それを見る職員も辛いのです。

——うーん。具体的解決策は。佐野さん 小・中学校区に一カ所の小規模施設を数多く造ることです。場所はあります。子どもの数が年々減少し、学校や保育所の増改築で解決できます。

——説得力のあるお話ですね。佐野さん そこは雑居部屋でなくて個室にする。地域の中で、在宅か施設か選択できるシステムが可能になります。ホームに入っても、地域生活が継続できて、老人クラブを辞めなくて済みます。

——川崎市の二〇〇一年プラン(総合計画)が進んでいますか。佐野さん プランは特養ホーム二十五カ所構想と地域の在宅福祉サービスの充実という積極面があります。しかし、この二つが切り

離されているのは問題です。老人ホームを地域に造って、地域で安



その人達が「四人部屋でいい」というでしょうか。生活感覚にマッチした施設を今から造らないと無用の長物になりますよ。

——北欧など福祉先進国の状況はどうなっていますか。

佐野さん スウェーデンの老人ホームでは、一人で三部屋使っていますよ。本当の意味の個室とは、一人一部屋でなく夫婦、兄弟、そ

の人のニーズにあった部屋です。

——思い出も持ち込んで暮らす。佐野さん ええ。ところが、日本ではみんな棄てて、形見分けする。そんな辛い思いを一人で

もさせてはならないんです。

——人権思想に突当りますね。佐野さん ええ。憲法二十五条が福祉の原点だということをお忘れはなりません。北欧並みの福祉

実現に、経費がいくらかかり、どのくらいの負担になるか、政党や研究者が提起してほしい。

——北欧と日本と違う点で、衝

撃を受けた点はありませんか。

先進福祉国北欧に学び
これからの福祉社会を

佐野さん 昨年、老人ホームを中心に視察したのですが、民間施設を利用した建物が多く、介護が社会化されて、ヘルパーの数も多いことに圧倒されました。

——ほー。



障害も中度や軽度になっていきます。人口六十五万人のストックホルムに、三カ所の補助器具センターがあり、その規模とケアがまたすごい。一人ひとりがどんな障害があ

っても人間として暮らし、その人の意思が尊重されています。在宅で暮らしたい人には二十四時間、ホームヘルパーが派遣されているのです。とにかく、人間を大切にしていることに衝撃を受けました。

川崎にも補助器具センターがほしいですね。

——日本の高齢者福祉政策をどう評価されますか。福祉と政治は切っても切り離せませんので。

佐野さん 日本の政策は、家族責任論が基軸だと思います。「家族を支援する」というのが、それで高齢者が幸せになれるいいのですが、なれないのです。二年前のデイスーパービスの調査で、トイレに行くのに四〇分の人を介護者が必要としています。この事実一つを見ても、その家族が疲れきっていることは明らかです。社会的介護に切り替えていく視点に立ち、理解と運動の輪を広げていくことが私たちの役割だと思っています。

——本当にそうですね。高齢者が高齢者の面倒をみているのが実態ですね。家族だけでお年寄りをみるのが出来ないことが、ひしひしと分かります。ありがとうございます。

佐野さん 高齢者が「日本に住んで不幸だった」と言わないような社会にするため、お互いに頑張らしましょう。

(構成)野々川千恵子。

文責/田中園)

劣等処遇の 考え克服し 生ある限り住み慣れた地で 社会的介護の視点を

心して生活が送れるよう統合化を求めたいですね(身振りを交え)。

——自分が年老いた時、よりよいケアを受けるため、少しでも努力したいですね。

佐野さん 自分の親を安心して今の老人ホームに入れる気持ちになれるか、真剣に考える時期です。今の施設は耐久年数が三、四十年。私が六十五歳になるのは、二〇〇四年。二一世紀には戦後教育を受けた者が福祉の対象になるのです。

——私もそのころです。

佐野さん 今のお年寄りには、あきらめと我慢で過ごしていますが、若い人は、はつきり考えをいう。

研究発表

川崎に「農」のあるまちづくりをめざして

「農」のあるまちづくりを考える会

大都会で「農」のあるまちづくりは必要なのか。ことし、都市周辺農地の宅地化を推進するため、税制が改正され保全農地を除き宅地並課税が行われた。バブルが弾け、地価は下がったが庶民にとっては「高嶺の花」のまま。「大都市圏の地価下落と宅地供給の切り札」との掛け声の裏に落とし穴はないか。川崎の市民グループ「農」のあるまちづくりを考える会」のメンバーが、市民企画講座で研究発表をした。「農業」と「農」の違いは？都市の中の農の機能と役割はなにか？

オゾン層の破壊は 将来、食料不足招く

酒井博・東北大名誉教授

私は、昭和六十年まで農業の教育に携わり、その間、埼玉で稲作、茨城で畑作、カンボジアで熱帯農業、東北で牧草地の研究をしまし

生活学の探求通し

都市農業の役割を

林 知子さん

私たちのグループができたのは三年前です。文部省、日本女子大、川崎市共催のウーメンス・ライフ・カレッジが開講し、女性の多様な学習要求の広がりに応じた生涯学習を進め、地域の活動を助けるのが目的です。生活学の定義・展開・探求を三年間勉強しました。生活学とは、人間の生きること全体を、人間的にとらえ、問題を見つけ解決方法を探るものです。三年後、受講生の中から教育、女性、高齢

た。今の地価を考えると首都圏農業は不可能に近いと思っていました。しかし、市民グループの調査をみて、都市住民が農業を地域の環境問題とからめ関心をもつ事は必要と思ひ直しました。

現在、日本は飽食の時代ですが地球上の五十億人のうち十億人は飢え、人口は増え続けています。

一方、オゾン層の破壊は食料生産の減少に結びつき、将来の食料不足は目に見えています。食料三割自給国の日本、特に都会人は危機に直面します。都市住民は今から食料について真剣に考える必要があります。

者、ごみ、農業などの課題を見つけた六グループが誕生しました。私たちは、川崎の生活環境や緑、作物、さらに、どんな農業が行われ、都市農業の果たす役割を調べ市民に川崎の「農」を伝えることになりました。



農の5公共的機能で 心の豊かさの教育を

斉藤 寿子さん

現在、地球の生き残りをかけ自然保護運動が叫ばれ、市の市民アンケートで、緑豊かな住宅街を望む声が一位で、緑への思いの深さが分かります。私は緑の中の農地に焦点を当て、川崎に農のある街づくりは可能か、農地と私たちの生活とのかかわりをお話します。

農業とは農産物の生産・供給を
する産業で、農とは生産以外の働
きを含めた農業をいいます。都市
農地の公共的機能は①食料供給②
水田の洪水調節③快適環境の保全
④人格形成と教育⑤物質循環。②
から⑤までの説明をします。

②全国三百社の水田貯水量は五
十一億トで、この貯水量のダム建
設をすると、費用は六兆二千億円
で水田十町当たり二万円の治水コ
ストの節約に当たります。都市で
は防災緊急避難場所の役割も果た
しています。

③水田の吹き渡る風は爽やかさ
で、森林を吹き抜ける空気は温度

・湿度を微調整します。豊かな緑
は美しい景観となり、小動植物と
の共存の場です。

④学校農園での学習・自然観察

市民農園奪った宅地並み課税 一極集中で高地価解消はムリ

山崎 紋子さん

私は三田団地に住み二十年、親
しんできたレジャー農園が、今年
から出来なくなりました。保全農
地以外の農地が、宅地並課税され
年額七千円の借地料が、月額二万
円になったからです。政府はこの

の実体験は教育効果があり、観光
・市民農園も生きた教育・福祉・
レクリエーションの交流の場です。
⑤生ごみ、汚水の浄化作用の役
割を果たしています。
農の公共的機能・役割は「みん
なが共有する見えざる国富」で、
物の豊かさより、心の豊かさの大
切さを教えています。

経済効率で計れぬ心の豊かさ エゴを恥じ生活思考変えよう

大倉田鶴子さん

工業は物を作り出す時、多くの
不利益を工場外に出しますが、農
業は食物を作りながら、多くの利
益を出します。経済効率で計れな
いのが「心を豊かにしてくれるも
の」です。

「地球にやさしい」という言葉
が街にあふれ、そこに人間のおこ

制度を「高地価、宅地不足解決の切
り札」としています。地価高騰は、
長期展望もなく農地をつぶし、人
口集中を招いた国の無策と企業の
土地操作にあり東京一極集中を変
えない限り、新たな高地価・宅地
不足を生みます。

川崎では、生産緑地申請が三四
%でしたが、実際には建築費の資
金不足で、駐車場が倉庫になるわ
けです。一方、緑地申請をせず農
業継続者には、従来の約三十倍も
課税され、よほど効率のいい作物
を生産しないと生活できません。

都市の理想的緑地率は三〇%。
川崎は一七%。このうち四〇%は
農地で、川崎の緑地率が一〇%以
下になる日が近いと憂慮されます。

りを感じます。自然の恵みを必要
以上にむさぼり、地球のエネルギー
を浪費してきたエゴイズムを恥
ずかしいと思います。

このままで良いのでしょうか。
「もっと豊かに…」の考えを変え
生活水準を落とさなければ、元も
子もなくなると思います。農業は、
地球と私たち川崎の街をつないで
いるのです。

講座・講演



「国際情勢講演会」「世界の中の日本」〜今後どう取り組むべきか◆ホテル ザ・エルシイ」11月25日18時半開演。主催は川崎市国際交流協会。講師は福岡政行・白鷗大教授。入場無料。定員200人。10月25日までに☎24519881(月〜金曜8時半〜17時)の同会へ申込む。会場はJR南武線武蔵小杉駅下車。

「男女雇用平等啓発事業◆県川崎北労働センター」10月20日「彼女が会社を辞めた理由〜会社の中で疲れているあなたへ」をテーマに作家の秋葉ふきこさんが講演▽10月27日、「まだまだ迷える〜今を活かす、ワーキングウーマンのライフ&キャリアプランセミナー」をテーマにキャリアネットワークの河野真理子さんが講演。いずれも時間は18時半〜20時半。受講料無料。

定員先着40人。2歳以上の保育あり(10日前までに連絡)。申し込みは☎72210171、JR南武線武蔵小杉駅より徒歩10分の同センター。

「小学生天文教室」天文のやさしい現象を学び天体観測をしてみよう◆川崎市青少年科学館」10月23、24、25日、11月4、5、6、7、8、9、10、11、12日の全5回。16時半〜19時半(雨、曇りの時は18時まで)。対象は4〜6年生。定員30人。申し込みは10月16日から☎92214731、小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分の同館。

「中学生天文教室」天文の基礎的な事柄を学び天体観測をしてみよう◆川崎市青少年科学館」11月21、22、23、24、25、26、27日の全5回。17時〜20時半(雨、曇りの時は19時まで)。定員15人。申し込みは☎92214731、小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分の同館。

「大妻女子大公開講座◆大妻学院多摩校大妻文化センター」11月11、12月9日の毎週木曜10〜12時、全5回。今、あらためて日本語の問題を考えるが主題。講師は大木正義同大教授ほか。定員50人。受講料3千円。申し込みは11月6日までに往復はがきで①大妻女子大公開講座Bコース②氏名(フリガナ)、性別、年齢③住所、電話番号④職業(勤務先)⑤返信用はがきに宛名を記し〒206多摩市上小山田町9の1、同大学事務局公開講座係。同所は小田急多摩線唐木田駅より徒歩5分。詳しくは☎042317219111の同大学。

「社会教養講座◆専修大 学神田校舎」変貌する世界」を統一テーマに、10月16日「平成ロマンを菓子とともに」を宮本隆司・ギンピス取締役社長が▽10月23日「中国・変貌の諸相」で杉本孝・新日鐵経営企画部

市外局番のないものは044

学習・文化情報

「新百合21ホール」使用の受け付け

小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩2分

方法が11月1日から変わります

来年5月からの利用希望日の「6カ月前にあたる月の1日」から申し込みを受け付けます

同ホールの使用申し込みは現在「使用日の6カ月前からの受け付け」になっていますが、11月1日から「使用される日に当たる月の6カ月前の月の1日午前9時から」に申し込み受け付け方法を変更します。(たとえば、来年5月1日から5月31日までの間に同ホールの使用を希望される方の場合、今年11月1日午前9時から申し込みができます。なお、希望日時が重なったときは、従来通り午前9時までにお出での方で抽選をしていただきます)。

1日が土、日曜の場合は、その翌々日か翌日の月曜日が申し込み受け付け日になります。研修室や会議室の受け付けは従来通り使用希望日の3ヶ月前からです。

お問い合わせは ☎952-5000の(財)川崎市生涯学習振興事業団。

学習・文化情報

参加したい催しがある

長代理。いずれも時間は15時40分～17時10分。受講料無料。申し込み不要。同校舎は☎031326518359。都営新宿線神保町駅より徒歩7分。

1 (内線284) かFAX 24412802の県川崎労働センター(主催)労働福祉課。同庁舎はJR八丁坂駅より徒歩3分。

コース①撮影編▽11月20日21日「同②総集編」。いずれも時間は11～17時。講師は木寺祥友さん。参加費4千円。定員20人。申し込みは10月21日9時半より☎75414500、JR南武線武蔵小杉駅よりバスで市民ミュージアム前下車の同所。

に平井雷太・教育研究家が講演▽11月2日「思春期の子を持つ親の心構え」をテーマに高桑茂・家庭・思春期カウンセラーが講演▽11月25日「心と身体のリラックス法」について百武正嗣・ヘルスカウンセラーの講演と指導。トレーナーなど運動に適した服装で。いずれも時間は14～16時。申し込みは☎85613254の同保健所庶務課。会場は25日のみ同市民館。田園都市線宮前平駅より徒歩10分。

中止。土星、星雲など観察。小学生は大人同伴。詳しくは☎92214731、小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分の同館。

①小菊盆栽の作り方講習会②果物の鉢作り講習会

①茶道入門(抹茶)②油絵入門◆県立高津青少年会館①は10月8～22日の毎週金曜。立ち方からお点前まで②は10月6～20日の毎週水曜。テッサンから完成まで。いずれも時間は18時半～20時半、全3回。対象は青年。受講料無料。定員10人。申し込みは☎84412101、JR南武線武蔵溝ノ口駅より徒歩5分の同館。

「家庭の健康セミナー」子どもをめぐる親のストレスその傾向と対策◆宮前保健所と宮前市民館①10月27日「受験期のイライラからの解放を求めて」をテーマ

「市民天体観望会◆川崎市青少年科学館」11月14日17時半～19時半。雨、曇りの時は中止。ドーナツ星雲など撮影。対象は小5以上。小学生は大人同伴。定員14人。持ち物はフィルム、一眼レフカメラボディ(カメラの貸し出しあり)。申し込みは10月24日から☎92214731、小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分の同館。

「市民天体観望会◆川崎市青少年科学館」10月16日18時集合。雨、曇りの時は

は11月12日②は11月17日、教材費千五百円。①②とも13時半から。受講料無料。定員30人(抽選)。申し込みは①10月30日②11月5日までに往復はがきで講習会名、住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区宿河原6の14の1☎91112177の同センター。同所はJR南武線宿河原駅下車。

「文化講演会「家族」」感性を磨く生き方◆県川崎北労働センター①10月22日18時半～20時半。講演はミュージックソングライター・みなみらんぼうさん。参加費無料。定員先着2百人。申し込みは☎72210171かFAX73314501で、JR南武線武蔵小杉駅より徒歩10分の同所。

「北川智繪「言の葉がたり」」あゝの感動をもう一度◆国立劇場演芸場①10月30日18時開演。藤沢周平作。「父と呼べ」。文化庁芸術祭参加。チケットはA席4千円、B席3千円。申し込みは10月15日(月)金14～20時、土14～18時)までに☎71118032の話芸写事務局。会場は営団地下鉄永田町駅下車徒歩3分。

「自然観察会」干潟の鳥◆大師河原①11月14日9時半～14時。小雨決行。京急大師線小島新田駅に9時半集合。指導は日本野鳥の会・佐野悦子さん。対象は小学生以上。定員20人。持ち物は弁当、筆記具、有る人は双眼鏡。歩きやすい服装、防寒服で。申し込みは10月15日から☎92214731の川崎市青少年科学館。

「市民天体観望会◆川崎市青少年科学館」10月16日18時集合。雨、曇りの時は

「秋季労働講座」働きやすい職場環境づくり◆県川崎合同庁舎①10月26日「ゆとりと豊かさを充実させるために」をテーマに藤田至孝・亜細亜大教授が▽11月4日「女性の能力を活用するために」をテーマに野間賢・法政大講師ほかが講演。いずれも時間は13～17時。受講料無料。定員50人。申し込みは☎2331735

「メイキングビデオ講座」川崎市市民ミュージアム①11月13と14日「自主制作基礎

「市民天体観望会◆川崎市青少年科学館」10月16日18時集合。雨、曇りの時は

「市民天体観望会◆川崎市青少年科学館」10月16日18時集合。雨、曇りの時は

「市民天体観望会◆川崎市青少年科学館」10月16日18時集合。雨、曇りの時は

「メイキングビデオ講座」川崎市市民ミュージアム①11月13と14日「自主制作基礎

「メイキングビデオ講座」川崎市市民ミュージアム①11月13と14日「自主制作基礎

「メイキングビデオ講座」川崎市市民ミュージアム①11月13と14日「自主制作基礎

「市民天体観望会◆川崎市青少年科学館」10月16日18時集合。雨、曇りの時は

「市民天体観望会◆川崎市青少年科学館」10月16日18時集合。雨、曇りの時は



学習・文化情報

参加したい催しがある



南武線武蔵溝ノ口駅より徒歩5分の同館。
 「市民健康づくり宮前地区のつどい」シンポジウム
 「更年期と上手に付き合う法」
 ◆宮前市民館 10月15日14時～16時。第2の人生を充実する一助に。市民健康づくり運動推進宮前地区会議主催。シンポジストは石塚文平・聖マリアンナ医科大学産婦人科学講師ほか。コイテイネーターは吉永陽子・宮前保健所医師。申し込みは☎85613254の宮前保健所庶務課。田園都市線宮前平駅より徒歩10分。
 「第3回パッチワーク教室」縫い作品展◆ギヤラリ1伊月 10月28～11月1日10時半～17時。「星の世界へのいざない」がテーマ。同所は小田急線新百合ヶ丘駅北口下車。詳しくは☎92211622の笠原さん。

「日本アマチュア天文研究会発表大会川崎大会◆麻生文化センター」10月31日10時から。市文化協会40周年記念。川崎天文同好会など主催。入場料は大学・一般1500円、高校生以下無料。同所は小田急線新百合ヶ丘駅より徒歩2分。詳しくは☎92218092の事務局・内野さん。
 「川崎地区消費生活問題研究発表大会◆川崎市中小企業婦人会館」10月25日9時半～13時。「地球とともに生きる・今・これから」豊かさを問う」をテーマに消費者グループが活動の発表、相互の交流を図る。田中里子・東京都地域婦人団体連盟事務局長の講演あり。同館は東横線武蔵小杉駅下車。詳しくは☎83311231(内線332)の県川崎消費生活センター。
 「第12回赤いふうせんまつり・バザー◆新城児童公園」10月24日10～15時。雨天は31日。主催は、障害者のための地域作業所・工房赤いふうせん。マンション講入返済資金、工房の運営

資金のためのバザー。日用品や電気製品などバザー用品の提供は☎93512678の同工房・岡本さん。会場はJR南武線武蔵新城市場南口より徒歩5分。
 「なるほど ザ ミュージアム」徒歩編 中村正義の美術館まで歩き、クイズに答えて遊ぼう◆中村正義の美術館 10月17日13時、京王よみうりランド駅か小田急線読売ランド前駅集合。雨天決行。参加費500円、入館料別。申し込みは☎95314936の同館。
 「健康のつどい」を見て、聞いて、触れて、確かめる自分の健康◆中原市民館 10月14日13時半から「これならできる」日常生活に生かす運動とその効果」をテーマに青山敏彦・NHK朝のテレビ、ラジオ体操指導者が特別講演▽14時半～15時半、「私たちの健康づくり実践法」体験発表。▽13時16時、パネルや標本展示など。入場無料。市民健康づくり運動推進中原地区会議など主催。同館はJR南武線武蔵小杉駅より徒歩5分。

コンサート

詳しくは☎74413257の中原保健所庶務課。
 「芸能サロン川崎能楽堂の四季93秋◆川崎能楽堂」10月23日14時開演。尺八奏者中村明一さんが虚無僧音楽からジャズ、ロックまでを演奏。入場料2500円。前売りは☎22217995の能楽堂。同堂はJR川崎駅より徒歩5分。詳しくは☎22218821の川崎市文化財団。
 「まちの音楽会」新谷要一フルートのタベ◆エポック中原 11月12日19時開演。ピアノ、菊池百合子さん。曲目は、B・マルティヌーのフルートソナタ1番、A・F・ドップラーのハンガリー田園幻想曲、C・フランクのフルートとピアノのためのソナタほか。入場料3千円(前売り2千800円)、学生2千円。同所はJR南武線武蔵中原駅。詳しくは☎86614506のタウンライブ(主催)。
 「川崎市民合唱団第50回

スポーツ

定期演奏会◆幸文化センター 10月24日14時開演。「月光とピエロ」「歌でつづる日本歴史」ほか。男声合唱、女声合唱も。入場料500円。同所はJR川崎駅よりバスで幸区役所前入口下車、徒歩2分。詳しくは☎52216229の小西さん。
 「体育の日記念事業」施設の無料開放◆幸スポーツセンター 10月10日9～12時と13～16時。種目はバスケットボール、トランポリン、トレーニング。対象は小学生以上。スポーツウェア、室内シューズを用意。詳しくは☎55513011、JR川崎駅よりバスで幸区役所前入口下車の同所。
 「体育の日記念事業」合気道の武道演武会◆石川記念武道館 10月10日13時半～15時半、講習会と模範演武。対象は小学生以上。詳しくは☎54410493、JR南武線鹿島田駅より徒歩15分の同館。

学習・文化情報

見たい絵画がある

「ヨーガ入門」健康チエックに最適◆県立高津青少年会館「10月7、21日の毎週木曜18時半、20時半、全3回。対象は青年。受講料無料。定員15人。申し込みは☎844-2101、JR南武線武蔵溝ノ口駅より徒歩5分の同館。

ギャラリー

「会館とどろき」10月19、24日10、16時半、川崎市退職校長会設立30周年記念作品展。絵画、工芸、書道、短歌、俳句、写真、園芸、生花100点と会員の歌集、詩集、地域の歴史・昔ばなし、自伝など104冊を展示。同校長会主催、川崎市教委後援▽10月12、17日、退職教職員作品展I（写真は昨年作品展）▽10月26、31日、同作品展II（工芸編み物）▽11月2、7日、同作品展III（書道、園芸）。退職教職員作品展は教職員互助会主催。同館は☎73313333でJR南武線武蔵小杉駅よりバスで等々力グランド入口下車。



「画廊ランプ屋」10月10

日まで、清水敦銅版画展▽10月14、24日、菅在住の彫刻家三人展（小淵俊夫、金森信昭、松田重仁）▽10月27、31日、第2回手の会展▽11月6、14日、王軍絵画作品展。火曜休廊。開館時間は11、18時半（最終日17時まで）。同所は☎94514416でJR南武線稲田堤駅より徒歩5分。

「中村正義の美術館」11

月7日まで、中村正義「小さな回顧展」。代表作の小下図、デッサン、挿絵、タブローでつづる画業。月、火曜休廊（10月11日開館）。開館時間は11、17時。入館料は一般500円、学生300円、

小中200円（団体割引あり）。同館は☎95314936で小田急線読売ランド前駅より京王よみうりランド行バスで細山下車、徒歩3分。

「かわさきIBM市民文化ギャラリー」10月26日まで、さまざまな眼158 藤沢江里子展。水曜と17日休廊。開館時間は11、19時で最終日も19時まで。詳しくは☎22218821の文化財団。同所はJR川崎駅東口より徒歩3分。

「川崎市青少年科学館」

12月26日まで、川崎のタヌキ展。市内の生息分布などから都市近郊にすむタヌキの生態に迫る。月曜、一部の祝日、月末休廊。入場無料。詳しくは☎92214731で小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分の同館。

「ギャラリー伊月」10月

14、19日、木曜会展。彩画、版画の年賀状など12年間の作品約50点を展示。年中無休。詳しくは☎95210277で小田急線新百合ヶ丘駅北口より徒歩1分。

「川崎市市民ミュージアム」

10月16、11月14日、ルーアン美術館展 フランス絵画黄金の19世紀。歴史画、ロマン主義、風景画、風俗画、肖像画、静物画などの名作。ルニョー「ヴェイナスとアドニス」、ジェリコー「騎銃兵の胸像」ほか

油彩画80点。タウウィッド「デイドとアイネアース」ほか素描全20点。休館日は月曜と11月4日。開館は9時半、17時。入場料は一般900円、小中高大生400円。詳しくは☎75414500、JR南武線武蔵小杉駅よりバスで市民ミュージアム行、同前下車の同所。

「ギャラリー幸」10月15

、20日まで、三人展（青木、飯窪、山下）▽10月22、27日、石渡団展▽10月29、11月3日、帆6彩展。木曜休廊。時間11、18時。同画廊は☎55518181でJR川崎駅西口より徒歩5分。

「ギャラリー華沙里」10

月12日まで、現代巨匠3人展。大沢昌助、織田広喜の油彩、灘波田龍起のリトグラフ▽10月14、26日、第1回麻生美術家協会作品展▽

10月28、11月9日、第2回同作品展。水曜休廊。時間11、18時。同所は☎95412333で小田急線新百合ヶ丘駅南口より徒歩5分。

会員募集



●水彩画研究会「竹水会」

〈多摩区長尾4-1-14、田中陽子代表〉水彩画の楽しさを味わってみませんか。趣味を持つことで、人生に新しい発見があります。毎週木曜日、13、17時まで。多摩市民館で。連絡は☎90010890の同代表宅へ。

●色鉛筆画「ゆりの会」

〈多摩区生田3-1-7-16、森あけの代表〉身近な画材―色鉛筆で、果物や花などを題材に素敵な絵を描きませんか。指導は日本芸術家協会運営委員野町祥太郎先生です。毎月第2、4火曜日10、12時、多摩市民館で。会費は月3千円です。連絡は☎93312598の同代表宅か、93312589の田中幸恵宅、93311470の弦間桂子宅。

お願い 学習・文化情報欄への情報をお寄せください。掲載料は無料です。

小誌の配布場所 市内145カ所

〔川崎区〕さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽川崎信用金庫本店・川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・藤崎出張所▽横浜銀行川崎支店・大島支店・大師支店▽住友銀行川崎支店▽神奈川県労働金庫川崎南支店・川崎支店▽JR川崎駅▽市立川崎病院▽太田総合病院▽東京電力川崎支社▽有隣堂川崎B E店▽有隣堂アゼリア店▽教育文化会館▽同会館内当事業団情報コーナー▽ブラザ田島▽県立川崎図書館▽市立体育館▽青少年センター▽市役所▽川崎区役所▽労働会館▽労働資料室▽ヨネット

イー堤根▽神奈川第二中・高年齢労働者福祉センター「サンライフ川崎」▽パン工房「パバゲーン」▽ギヤラリー「ばれつ」▽ライプハウス「JAZZびあにしも」

〔幸区〕川崎信用金庫鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所▽横浜銀行御幸支店・鹿島田支店▽幸市民館▽幸図書館▽石川記念武道館▽幸スポーツセンター▽幸区役所▽産業振興会館▽県立勤労女性会館

〔中原区〕川崎信用金庫新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新丸子出張所・平間支店・宮内支店・武蔵中原支店・向河原支店・荻宿出張所▽横浜銀行武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店▽神奈川県労働金庫中原支店▽市立井田病院▽中原市民館▽中原図書館▽市民ミュージアム▽中原区役所▽エポックなかはら▽中

小企業婦人会館▽総合自治会館▽消費生活センター▽会館とどろき▽フールドハウス大野屋小杉店・住吉店・中原店

〔高津区〕川崎信用金庫子母口支店・高津支店・二子新地出張所・久地支店・野川支店・梶ヶ谷支店▽横浜銀行溝口支店▽さくら銀行溝口支店▽東京電力高津営業所▽高津市民館▽高津図書館▽高津区役所▽市民プラザ▽イトーヨーカドー溝口店

〔宮前区〕川崎信用金庫向ヶ丘支店・有馬支店▽横浜銀行鷺沼支店・川崎北部市場支店▽住友銀行宮崎台支店▽聖マリアンナ医科大学病院▽宮前市民館▽菅生分館▽宮前図書館▽青少年の家▽宮前区役所

〔多摩区〕川崎信用金庫稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸支店・読売ランド駅前支店▽横浜銀行登戸支店・稲田堤支店

・生田支店・読売ランド駅前支店▽JR登戸駅▽東京電力生田営業所▽画廊ランブ屋▽登戸ドレスメーカー学院▽多摩市民館▽多摩図書館▽日本民家園▽青少年科学館▽青少年創作センター▽多摩区役所▽フルーツパーク▽緑化センター

〔麻生区〕川崎信用金庫柿生支店・百合丘支店・新百合丘支店▽横浜銀行百合ヶ丘支店・新百合ヶ丘支店・柿生支店▽住友銀行新百合ヶ丘支店▽さくら銀行柿生支店▽神奈川県労働金庫新百合丘支店▽つつみ歯科新百合ヶ丘▽ホワイト急便金庫店▽パティ薬局▽有隣堂新百合ヶ丘店▽麻生市民館▽岡上分館▽麻生図書館▽麻生スポーツセンター▽麻生区役所▽福祉バルあさお▽ヨネットイ・王禅寺

（この他、老人いこいの家に若千部数置いてあります）

ミニマルズ

多摩図書館管覧 覧所がオープン

多摩区管3の1の1、京王相模原線稲田堤駅前の田代ビル3～5階に多摩図書館管覧所が、このほどオ

ープンした。3階が貸し出しコーナー、4階が閲覧コーナー、5階が新聞・雑誌コーナー。蔵書数は一般書・児童書など約7千冊。また、雑誌が約20種、主要日刊新聞も置いてある。閲覧席は40席。開館時間は10～17時。休館日は毎週月曜、祝日と月末の整理日。貸し出しは1人3冊まで。貸し出し期間は2週間。これまで多摩図書館など市立図書館の利用者も改

めて登録の手続きがある。同閲覧所は駅前での来所は良いが、駐車場がないので車での来所はできない。「より身近かな地域でのサービスを心掛けたい」と職員は張り切っている。問い合わせは☎946-1327 1の同所。

心に生き続ける グレン・ミラー

「グレン・ミラー・K・レイ・マックウエイ楽団」の演奏会（当事業団など主催）が、九月十八日の土曜日の午後、川崎市教育文化会館大ホールに千九百人の聴衆を集めて開かれた。

グレン・ミラーサウンドは、現在の中高年市民が青春を謳歌していた頃、爆発的に支持され、いまでも伝説のように生きるとあって、家



族連れなどが開演二十分前からぞくぞくと入場した。

ステージの幕が開くと、客席から熱烈な拍手が起こり、早くもホール全体が期待に胸をときめかせた。

「茶色の小瓶」「ムーンライト・セレナーデ」「イン・ザ・ムード」などの名曲の数々が演奏され、レイ・マックヴェルの体全体で曲を表現するような指揮にステージと客席が一つになり、思わず手足でリズムをとる聴衆もいた。

トランペットが鳴り響く。会場は一瞬、シーンと静かになり、だれもがその美しい音色に陶醉した。ライ

トに照らされた特別ゲスト、ジーク・ザーチの額から汗がこぼれ落ちていた。

軽快でコミカルなダンスで、会場を沸せたのはジャイヴィング・リンディ・ホツパースの男女。また、女性ボーカル、スウィング・シフトの伸びやかで艶のあるハーモニーは魅

力的で「もつと聴きたかった」ファンも多かった。

この日の演奏会で、今もなお、グレン・ミラーサウンドの人氣が衰えていないことを強く印象づけ、グレン・ミラーその人が今も多くの人々の心に生き続けているようだ。

自然への思いやりが画風の源 田中保さんの作品

小誌夏季10月号の表紙絵は、田中保さんに制作をお願いした「モチーフもバック(背景)も季節感があり、心が和みます」と好評。

田中さん作品が全国で紹介されたのは1973年の「公害告発展」。テレビ朝日の「13時ショー」スタジオギャラリーに展示され、黒柳徹子さんと対談、反響を呼んだ。その後、北海道が生まれ故郷ということもあり「オホーツク知床」の個展を開き

環境に目を向け続けてきた。86年、札幌の「始源の声ひびき」展は、64年の「文明批評展」と「公害告発展」の作品など1000余点NHK函館テレビなどが放映。「始源」との言葉が注目された。

表紙絵の作品には、小さな生物への「温かい感情」が込められ、20年前の公害告発展の作品は「憤り」が滲み出ている。その源は、田中さんの自然に対する思いやりか。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
電話(〇四四)九五二一五〇〇 FAX(〇四四)九五二一三五〇
編集人 田中 園

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の三 教育文化会館一階
電話(〇四四)二三三一六二五〇

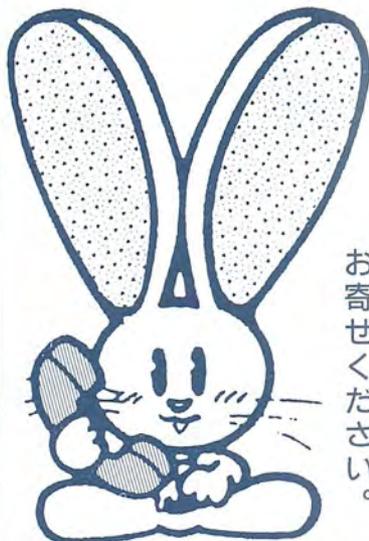
編集後記

今号は二十四ページに増ページしました▼「かわさき市民アカデミー」の開校式が、九月二十九日に教育文化会館であり、それを掲載したためです▼当初の紙面計画では、開校式の記事は十一月号に回すことになっていました▼しかし

「川崎市民自らの手で『生涯学習の時代』を切り拓く第一歩」という市民アカデミー開校式が一月遅れの発行では……との、もつともな声を考慮し、今号に掲載することにしました▼小誌は、月刊誌になって以来「一日発行」を厳守してきましたが、今号の発行日が約一週間遅れた事情をお汲みとり願ひ、お許しください▼また、約百五十力所の配布場所の担当者の方々にはご迷惑をお掛けしたことを謹んでお詫びします▼ところで、開校日当日は小誌スタッフは大忙し▼メモを執り、別室でワープロを打つ人▼カメラのシャッターを切りつけ、すぐに現像・プリントしてくれるカメラ屋に走る人▼翌々日、総ての原稿を印刷所に手渡し、十月三日の日曜日に校正するあわただしさでした▼アカデミー会員や読者のみなさんの感想、意見をお待ちしています。

みなさまの声をすばやくサービスに活かす

エコー・システム



もつともつと、
お客さまの声を
お寄せください。

ご意見・ご要望はエコー・ライン、FAXへ
お気軽にお申しつけください。

エコー・ライン 0120-12-8500
(フリーダイヤル)
エコー・FAX 0120-12-8589



夢ある社会へ

東京電力

私は「エコー・システム」のマスコット・キャラクターおこたえ「ミミちゃん」です。



元気倶楽部

◆お湯も使えて便利です
株式会社 タイキ ジャパン

価格 230,000円
(消費税、工事費別)

水を選ぶ人の 整水器はこれ!

●このアルカリイオン整水器は優れた性能で信頼を集めています。

- ☆健康にいい アルカリイオン水
- ☆美容にいい アストリンゼン水

- ◇自動洗浄機能
- ◇電解レベルスイッチ
- ◇カートリッジ交換 ウォーニング機能

ライフステージを豊かにする整水器をお手元にどうぞ



minesoft ミネソフト

AKAI 赤井電気株式会社

価格 198,000円
(消費税、工事費別)

いまなら2週間
無料貸し出し中

お気軽に無料カタログをご請求ください

☎ 044-954-4154 株式会社 ヒューマンテックコーポレーション
商品のご注文も電話で 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306